植木病院だより

Vo.1
平成17年4月

発行所 〒861-0136 熊本県鹿本郡植木町岩野285-29
TEL096-273-2111 FAX096-272-2117 植木町国民健康保険 植木病院 発行人 鳥越 義継

■広報誌発刊に寄せて



植木町国民健康保険 植木病院
院長 鳥越 義継

国民健康保険植木病院が現施設で診療を開始して早2年が経過いたしました。

当院では「信頼と満足の得られる全人的医療の提供」を基本理念に掲げ、救急医療や連携医療など地域に密着した医療サービスの提供を目指してまいりましたが、この度これを更に充実発展させるために、患者さんや病院をご利用いただく皆様とのコミュニケーションに役立つ広報誌を発刊する事といたしました。

近年、医療を取り巻く環境は医療経済的にもあるいは医療倫理的にもかつてない程の大きな変革の時を迎えています。こういう状況の中で、地域の皆様と病院が医療に関する情報を共有し良好なコミュニケーションをはかっていくことは何よりも大切な事と考えます。今後この広報誌を通して当院に関する色々な情報を皆様にお伝えする事により、より親しみの持てる、真に地域に密着した、信頼される病院作りを目指して努力を重ねてまいりたいと思います。

施設概要

- ●所在地　熊本県鹿本郡植木町大字岩野285番地29
- ●敷地面積　15,000㎡
- ●建築面積　4,820㎡
- ●延床面積　10,564㎡
- ●構造・規模　地上5階建　RC造
  1階　外来診療　検査部門　栄養部門　リハビリテーション部門
  2階　管理部門　手術部門
  3階　一般病棟　50床（個室10　4床室10）
  4階　一般病棟　50床（個室10　4床室10）
  5階　療養病床　39床（個室12　4床室6　3床室1）　健診ドック室2床
- ●ベッド数　141床　（一般病床100床　療養病床39床　健診ドック室2床）
- ●診療科目　外科、整形外科、内科、循環器科、放射線科、リハビリテーション科、脳神経外科（非常勤）
- ●導入機器　MRI、CT、DSA、X線TV、マンモグラフィ等
- ●取組み等　省エネ取組み　コージェネレーション採用
  発電機220kw×2台（燃料：重油）
  病室トイレに人感センサー作動照明採用
  新エネ取組み　太陽光発電10kw（病棟庇兼用）
- ●建物の特徴　・ハートビル法適合の建物です。
  ・光庭による自然採光を多く取り入れています。
  ・駐車場は透水性舗装により雨水を地下水への涵養を行います。
- ●部門の特徴　＜再来受付コーナー＞　オーダリングシステムと連動して診療の効率化と待ち時間の短縮を図ります。
  ＜健診室＞　健診・人間ドック専門の健診部門を設けました。人間ドックでは従来のコースに加え、選択コースとして心臓、脳、甲状腺、乳房、肺などの最新医療機器を用いた検査が加わります。
  ＜救急診察室＞　救急や時間外の診療を24時間体制で行います。救急処置室を備えています。
  ＜3~5階　食堂・デイルーム＞　エレベーターホールに隣接させ見舞い客と患者の憩いのスペースとします。また、患者さんが食堂としても利用できます。
  ＜5階病棟＞　4床室は全てのベッドに採光を取り入れるなど、滋養環境を考えて設計した病棟です。



常勤医師紹介

（平成17年4月1日現在）

病院長 鳥越 義継



所属学会
日本外科学会
日本消化器外科学会
日本胸部外科学会
日本内視鏡外科学会
日本臨床外科学会
日本静脈経腸栄養学会

認定医・専門医
日本外科学会指導医
日本消化器外科学会認定医

診療部長兼外科科長 久米 修一



所属学会
日本外科学会
日本消化器外科学会
日本内視鏡外科学会
日本癌治療学会
日本乳癌学会
日本臨床外科学会

認定医・専門医
日本外科学会専門医
日本消化器外科学会認定医
日本乳癌学会認定医
マンモグラフィ読影認定医

外科医長 犬塚 貴雄



所属学会
日本外科学会
日本消化器外科学会
日本臨床外科学会
日本消化器内視鏡学会
日本臨床腫瘍学会
日本DDS学会
日本超音波医学会

認定医・専門医
日本外科学会認定医

外科医員 宮村 俊一



所属学会
日本外科学会
日本消化器外科学会
日本胸部外科学会
日本内視鏡外科学会

副院長兼内科科長 勇 聡



所属学会
日本内科学会
日本内分泌学会
日本糖尿病学会
日本動脈硬化学会
日本肥満学会

内科医長 松岡 多香子



所属学会
日本内科学会
日本アレルギー学会
日本呼吸器学会
日本免疫学会

認定医・専門医
内科認定医

内科医長 田渕 博孝



所属学会
日本内科学会
日本糖尿病学会

認定医・専門医
内科認定医

循環器科科長 鶴田 敬一郎



所属学会
日本循環器学会
日本内科学会

認定医・専門医
循環器専門医
内科専門医

整形外科科長 緒方 宏臣



所属学会
日本整形外科学会
日本リウマチ学会
日本リハビリテーション学会

認定医・専門医
整形外科認定医
リウマチ医
日本体育協会スポーツドクター

リハビリテーション科科長 紫垣 光久



所属学会
日本リハビリテーション医学会
日本整形外科学会
日本脊髄障害医学会
日本リウマチ学会
九州リウマチ学会
日本職業・災害医学会
西日本整形・災害医学会
医療マネジメント学会

認定医・専門医
日本リハビリテーション医学会認定臨床医
日本整形外科学会認定整形外科専門医
〃 スポーツ医
〃 リウマチ医
日本リウマチ財団リウマチ登録医
身体障害者福祉法第15条指定医



新スタッフ紹介

外科医長 犬塚 貴雄



平成7年に熊本大学を卒業し、同年熊本大学旧第一外科に入局、その後人吉総合病院、公立多良木病院などで10年間外科医としての修練を積み、4月から植木病院にお世話になることになりました。

また、その間に、肝臓ガンに対する動注化学療法についても学んできました。低侵襲であり、副作用も少なく、入院期間も短期で行える治療ですので、地域のみなさんに還元できるようにがんばっていきたいと思っています。よろしくお願いします。

よろしくお願いします。

看護部長 坂本 けい子



熊本赤十字病院で師長として勤務しておりましたが、4月から植木病院で勤務することになりました。

地域の皆様のご要望におこたえできるように看護部職員全員で努力していきたいと思います。

どうぞよろしくお願いします。

診療情報便り

心臓カテーテル法による検査や治療について

心臓カテーテル法とは、手や足の血管から、カテーテルと呼ばれる細長い管を心臓まで入れて、心臓病の診断や治療をおこなう方法です。この方法は、今から80年ほど前、当時、新進気鋭のドイツの青年医師が自分自身で自分の腕から心臓までカテーテルを入れたことが始まりとされています（のちにこの医師は心臓カテーテル法の分野でノーベル医学賞を受賞しました）。日本でも、今から60年ほど前に、検査の記録が残っています。そして現在、日本では、年間30万人前後の方がこの心臓カテーテル法による検査や治療を受けています。心臓に管を入れるなんて･･･怖い!と最初に思われる方もおられますが、上にお話しましたように、長い歴史と試行錯誤の結果、現在は、他の検査や手術と同程度の安全性が確立されています。むしろ、自分の心臓病の程度や、心臓の状態、今後どのように治療していけば大丈夫なのか　といったことが正確にわかるため、受けてよかった、安心しました　と検査や治療の後におっしゃる方が多いです。植木病院でも、病院新規移転にともない、心臓カテーテル法による検査、治療が可能になり、これまで約300名の方が受けられました。心筋梗塞で救急搬入されて、心臓カテーテルによる治療で一命を取り留めた方も20名ほどいらっしゃいます。このように、心臓カテーテル法による検査や治療は、人の命に直結している心臓を守るために必要不可欠な方法となっています。今後も、心臓カテーテル法による検査や治療が、住民の皆様方のかけがえのない命や健康の維持に微力ながらもお役に立てれば、と願っております。



※心臓カテーテル法による検査や治療の必要性は、循環器専門の医師が予め診察した上で判断いたします。また、入院（検査:1･2日、治療3･10日）が必要になります。より詳しくお知りになりたい方は、検査、治療のパンフレットを準備してお待ちしておりますので、どうぞ、循環器外来までおこしください。



循環器科科長
鶴田 敬一郎

TOPICS

個人情報保護への取り組み



平成17年4月1日個人情報保護法が施行されました。医療機関は患者さんの情報の中で、特に健康状態や病気に関わる情報を取り扱っています。他人はもちろん家族に対しても知られたくない情報もたくさんあるものと考えられます。

当院では法律や厚生労働省が示した「医療･介護関係事業者における個人情報の適切な取り扱いのためのガイドライン」に基づいて患者さんの「個人情報保護方針」、「通常の業務で想定される個人情報の利用目的」を策定しました。総合受付にて理念等の配布を行っております。

今までも医師法などの守秘義務を遵守して参りましたが、コンピュータ技術の発展に伴い医療現場でも電子情報なども取り扱うようになり、今回の個人情報保護法はさらに厳しく患者さんの情報保護を求めています。そこで当院においても今までにまして対策をたてました。それに伴い、安全な医療提供と個人情報保護を両立するため①患者さんご本人の確認を度々行うこととなります。また、②入院患者に関する問い合わせは、電話はもちろん受け付けやナースセンターなどでの問い合わせに関しましても相手の確認が難しく返答できかねることが多いと考えます。あらかじめご家族の方などにご確認頂いた方がよろしいかと存じます。③病状説明に関しても説明をしても良いご家族のお名前をあらかじめ患者さんにお聞きしたうえで、その方々のみに限定し病状説明等を行うことになります。

患者様、そのご家族の皆さん、また来院者の方々には、以上の様な点で少しとまどわれたり、ご不満に思われたりなさるかもしれませんが、安全な医療の提供と個人情報保護の観点からどうぞご容赦いただけるようお願い申し上げます。

外来からのご案内

◇健診科
①人間ドック（オプション有ります。）
　●日帰りコース　●通院2日コース　●1泊2日コース
②生活習慣病予防健診
③企業健診
④乳がん検診　触診とマンモグラフィー（町の助成金有り）
　（お問い合わせは、国保植木病院
　医事係　TEL096-273-2111内線101）

◇健康教室:3ヶ月に1回（5月･8月･11月･2月に実施予定）
　内　容:食事会と講演会
　場　所:国保植木病院　2階会議室

◇糖尿病教室:毎月第1･2･3木曜日　国保植木病院2階会議室
　（お問い合わせは、国保植木病院　外来内科
　TEL096-273-2111（内線140）

外来診療のご案内

（平成17年4月1日現在）

	曜日 / 診療科	月	火	水	木	金	土
午前	内科	勇	勇	勇	勇	田渕	担当医
		田渕	松岡	田渕	松岡	松岡	
	循環器科	新冨	鶴田	西嶋	鶴田	福永	
	外科	鳥越	久米	宮村	久米	犬塚	担当医
	整形外科	緒方	紫垣	緒方	紫垣	緒方	担当医
	脳神経外科				担当医（第2・第4木曜日）		
午後	総合診療科	勇	田渕	松岡	松岡	田渕	

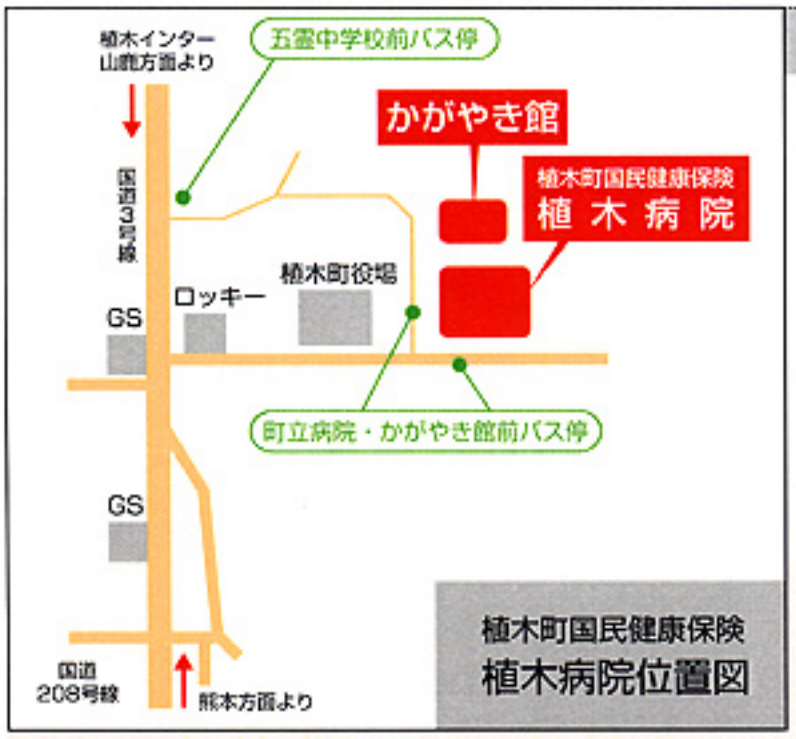
※午後は総合診療科として担当医が対応し、必要な場合は各科医師が対応します。
土曜日は交代で各科担当医が対応します。
脳神経外科は第2・第4木曜日の午前中のみで熊本大学付属病院医師が担当します。
循環器科新冨医師、西嶋医師、福永医師は熊本大学付属病院医師です。

診 察 日:月曜日 ～ 土曜日
休 診 日:土曜日の午後・日曜日及び祝祭日
年末年始（12月29日から翌年1月3日）
受付時間:平　日 ／ 午前 8:30 ～ 午前 11:30
午後 1:00 ～ 午後　4:30
土曜日 ／ 午前 8:30 ～ 午前 11:30
※ただし、急患の方は、いつでも受診できます。

地域医療連携室のお知らせ

当院では、各医療機関との連携を推進しております。その窓口として「地域医療連携室」を平成14年12月に開設しましたので、ご活用下さいますようお願い申し上げます。

■地域医療連携室
担当者：寺下いず美
電　話：TEL096−273−2111（代表）
096−272−0854（直通）
FAX096−272−0854（直通）



植木町国民健康保険
植木病院位置図

交通アクセス

九州産交バス
「町立病院・かがやき館前」バス停下車
熊本ー山鹿線をご利用の方は、「五霊中学校前」バス停下車
徒歩5分

乗用車
・熊本市中心部より30分
・山鹿市中心部より30分
・九州自動車道　植木インターから10分

●先頃、旧友の誘いに九州新幹線「つばめ」で鹿児島の旅に出掛けた。初めての新幹線に胸をワクワクさせ、あっという間に到着。駅は、一周年イベントで賑わっていた。そこは学生時代に過ごした街。懐かしさが一入。桜島から屋久島へ高速船での快適な船旅。寒い時季の2日間であったが、友人夫妻の心温まるもてなしに感謝の気持ちが溢れ忘れられない旅となった。旅を通して私は、医療現場でも患者さんへの心のこもった言葉賭け、対応（心のケア）が大切なことを痛感した広報誌発刊にあたり、広報誌が患者さまと職員の絆となり、広くご意見を賜りながら、誇りを持った日々の医療提供を目指す事が出来る様にと願う次第である。

春

編集後記

●春も真っ最中で桜が風に舞い散るすごしやすい季節となりました。
また花粉が舞う季節でもあり、花粉症の方にはつらい時期でもあります。気象情報でもスギ花粉情報を毎日発表しています。
さまざまな花粉症グッズも数多く出回っており、空気清浄機なども売れ行き好調の様です。花粉症グッズもよいですが、軽減のためにうがい、手洗い、マスク等の予防で花粉症をのりきりましょう！！

●この広報誌は季刊で発行を重ねてまいります。
今回の4月号が初の広報誌となります。また、私は5月末に出産をひかえた妊婦でありますが、子供の成長の様に植木病院だよりも成長していくことを願っております。さまざまなご感想や病院に対するご意見などをお寄せいただければ幸いです。

薬局　田島